

図書委員の運営で、読書や発表活動の楽しさを分かち合う行事となりました。 校内ビブリオバトル 開催 9月4日(金)

荒川区では、平成30年5月の「読書を愛するまち・あらかわ」宣言に基づき、子どもたちの豊かな心を育むため、子どもたちが素敵な本と出会い、読書の大切さや楽しさを実感できるよう、読書活動を推進しています。さらに、令和2年度からは、子どもたちはもちろん、保護者も含め家族みんなで読書に親しんでいただこうと、「家読(うちどく)」事業を推進しています。八幡中としても、『授業活用や読書啓発活動により、学校図書館活用を推進することで、学習意欲の向上を図る』を、学校経営方針の5つの柱の一つに掲げ、本に触れる機会の充実を図っています。



そうしたなか、9月4日(金)の放課後、図書委員の運営で「校内ビブリオバトル」を開催しました。「ビブリオバトル(書評合戦)」とは、“バトラー”と呼ばれる発表者が自分のおすすめの本を紹介、それを聞いている会場の観覧者“オーディエンス”が一番読みたいと思った本に投票し“チャンプ本”を決める というイベントです。八幡中では一昨年度に引き続き3回目の開催となります。

当日の参観は自由として案内をしたところ、放課後は自身の部活動がある生徒もいるなか、96名もの生徒が集まりました。これは、全校約480名の本校の、実に約1/5 にあたる人数で、関心の高さに驚きました。そうした後押しもあり、各学年代表2名、総勢6名のバトラーの生徒は熱い戦いを繰り広げてくれました。どのバトラーも、自分のお気に入りの本の魅力について、それぞれ工夫しながら語ってくれ、どの本にも興味が湧きました。AB2つのグループでの予選を経て、各グループの勝者2名により決勝を行いました。



その結果、大友 辰馬さんが紹介した『爆弾』がチャンプ本に選ばれました。おめでとうございます。大友さんは、12月に行われる「全国中学ビブリオバトル東京大会」に学校代表として参加する予定です。

予選Aグループ				予選Bグループ		
発表順	発表者	著書名	著者	発表者	著書名	著者
1	後藤 桃奈(1-2)	リトル・ゾンビガール	徳野 有美	鈴木 愛加(1-4)	夜市	恒川光太郎
2	福里 綾乃(2-1)	水を縫う	寺地 はるな	大友 辰馬(2-2)	爆弾	呉 勝浩
3	前田 瑠花(3-1)	TAMAYA	三月 みどり	田中 和奏(3-3)	だれもみえない教室で	工藤 純子

こうした機会を通して、読書や発表活動に興味や関心をもつきっかけになってくれるといいなと思います。八幡中の文化的な楽しみを味わえる図書行事となりました。見事な運営・進行をしてくれた図書委員会の皆さん、ありがとうございました。

